

# 開成がすきです。

第一子の誕生後に、妻の実家のある開成町に移り住みました。義父母と私たち夫婦、子ども二人のにぎやかな日々は、地域のコミュニティに支えられました。

自らも自治会活動/各種ボランティアに積極的に参加して実感したのは、人々の力、地域の力のすばらしさです。

その結果、そうした力をフルに発揮することで、もっと素敵な住みよい町にしたい、住民のみなさんと一緒に新しい町づくりにチャレンジしたいと考えようになりました。

子ども達の笑顔が輝く町、みんなが「私のまち」「大好きな町」と思える開成町を実現するために、一緒にひと汗かきませんか！

開成町を日本再生の起点にしましょう！



## やま した 山下 すみお

- ・ 生年月日：1964年8月5日
- ・ 出生地：熊本県牛深市（現天草市）

### 【略 歴】

- ・ 1984年3月熊本県立牛深高等学校卒業
- ・ 1984年4月福岡大学経済学部経済学科入学
- ・ 1987年3月福岡大学経済学部経済学科卒業

### 【資 格】

- ・ 高等学校教員免許（社会科）
- ・ 普通自動車運転免許



### 【職 歴】

薬局社員を皮切りにメイクアップアーティスト、インストラクター、コンサルタントなどを経歴。現在は化粧品・健康食品の品質管理業務に従事



### 【趣味・特技】

料理・筋トレ・ドライブ

### 【その他】

- ・ 神奈川県立高等学校PTA連合会 平成29年度副会長
- ・ リンク中家村代表世話人
- ・ 中家村キッズ代表
- ・ 禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議 会員



ホームページ



後援会申し込み

山下すみお後援会事務所  
 神奈川県足柄上郡開成町吉田島 1656-2 サンハイツB101  
 ☎090-2259-4785  
 Email: sumio.yamashita2847@gmail.com

# 開成町から 日本再生！



やま した

## 山下 すみお

# 条件のそろった開成町

日本は少子高齢化の流れを止められません。国も子どもを増やすための政策に力を入れているとは言えません。日本が子育て支援政策にける支出はGDP比で1.7%程度です。

私が総理大臣なら子育て関連予算5%を目標にするのですが…

しかし、国がやらないなら開成町がやればいい！基礎自治体でもやりようがあることは兵庫県の明石市などいくつかの実例が証明しています。

どこでも可能とは思いませんが、開成町には条件が整っています。

それは…

- 人口が増え続けている
- 子どもの人数が多い
- 東京にも通勤圏内

今現在子どもが増えているという事実は、子育て関連企業の参入条件として十分でしょう。そこに小田急線が子ども一律50円を打ち出しました。親世代にとっても急行停車で利便性の高い街となりました。



## 開成町の歩みを まだまだ加速させる 3つの基本政策

1 3世代同居・近居を応援し、  
人口増加を継続

2 子育て・教育環境を充実させ  
「子育てタウン開成」を加速

3 住民力で活力ある町づくり

### 大きな課題にチャレンジします！

- 民間の産婦人科・小児科の誘致
- 現役世代による町政実現のための環境づくり

新しいリーダーとともに  
新しい町づくりを進めます！

### 1. 3世代同居・近居を応援

- 遠距離通勤の交通費補助
- 町独自の同居・近居支援金の制定
- 国による補助金等の紹介と活用促進



### 2. 子育て・教育環境の充実

- 入学金に間に合う奨学金の制定
- 安全・安心な生活環境の整備
- 子ども達の健康を守る分煙条例の制定

### 3. 住民力で活力ある町づくり

- 住民の声を行政に届け、行政の意思を住民につたえる
- 住民ボランティアを積極的に活用



県西地区各地で助産院誘致の運動が起こっています。しかし平均初産年齢が30歳を超えた今、「分娩」だけでなくハイリスク出産にも対応する「周産期医療の提供」が必要です。

また地方議員の多くは定年退職者です。新しい町づくりには若い英知が必要です。優秀な現役世代が議員となり、新しい町づくりができる環境を整えます。